



大崎市公式キャラクター
♪♪♪山崎さん

ほっこり通信

大崎市田尻学校給食センター
マザースキッキンたじり
令和8年 No.8



1月の学校訪問のようす

1月の学校訪問は「学校給食の歴史について」というテーマでした。



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

にほん がつ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ

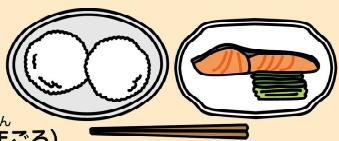
学校給食の始まり

かつ ごう きゅう しょく はじ

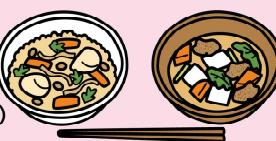


明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり
やさかな
焼き魚
ぶりもの
漬物
めいじ
(明治 22年ごろ)



ごしき
五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
たいしょく
(大正 12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開

し えん ぶつ し

がつ ごう きゅう しょく さい かい



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク
トマトシチュー
(昭和 22年ごろ)



コッペパン・ミルク
たつた あ
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和 25~30年ごろ)



バラエティー豊かな献立内容に

昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したこと、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンを中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。

現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

郷土料理
や特産品
を使った
献立も登
場します。



1月 21日の献立

「ゆかりごはん、筍かま璣部揚げ、こんがり
きつねサラダ、ぽかぽかすっぽご汁」